

# 平成30年度の市長の市政方針に対し会派を代表して質疑

\* 質疑の内、一部を掲載。詳細は6月3日の報告会にて。

## 企業誘致の方向性が示された点などを評価！

- ①、昨年、一昨年と求めていた企業誘致に対する考え方について、安定的な雇用創出や地域経済の活性化に寄与する企業を誘致したいとの方向性が示された点。
- ②、「養育環境に配慮した施策」について、『生まれ育った経済環境によって左右されることのないよう』とより具体的な方向性が示された点。

質疑とは、議案のはっきりしていない点、解らない点を聞くことです。



## 川越が発信すべき魅力とは！

川口）市長の考える川越の魅力とは何か。

市長）歴史、文化、職人の技能等の伝統が大きな魅力。次に、交通の利便性、バランスの取れた産業構造、そして広大な農地や武蔵野の雑木林、水辺環境など豊かな自然、さらに、川越市に愛着を持ち、地域を支える人々が川越の魅力。

## 地域会議の方向性を確認！

川口）住民自治の中心としている「地域会議」について、市長が考える課題と今後の方向性は？。

市長）その存在や内容の認知度が低く、市中央部の地域においては設立が進んでいないため改善が必要。地域会議は多様化する地域課題に対処するために住民自治の視点に立ち、多角的に取り組み、地域における地域内分権の中心となる事を期待。

地域内分権とは、一定区域内で生活する地域住民がまちづくり組織をつくり、行政と協働しながら地域課題の解決や地域活性化に主体的に取り組む仕組み。



# 同じく教育委員会の教育行政方針に対しても代表質疑

\* 質疑の内、一部を掲載。詳細は6月3日の報告会にて。

## 公民館は生涯学習施設として運営すべき！

川口）生涯学習施設に比べ利用目的に制限のある「社会教育施設としての公民館」という位置づけを明確にする一方で、誰もが利用しやすい運営に努めるとする表現は相反するのでは？社会教育施設を生涯学習施設として運営することに検討の余地があると考えなのか。

教育長）地域教育力向上や生涯学習充実のため、誰もが利用しやすい生涯学習施設として運営できるよう検討したい。

## 生涯学習

学校教育

スポーツ活動

文化活動

社会教育

ボランティア活動

## 小中一貫校をどう考えているのかを確認！

川口）小中一貫教育を行う上で小中一貫校は効果的と考えるか。

教育長）小中一貫教育を推進しやすい環境になると考えているが、小中学校の組み合わせが複雑である地域もあり、その取り組み等について情報を集め、効果や課題を研究しているところ。



